

第1回世界選手権大会 ~イギリス・ノッティンガム~

JAPAN SPORT
COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

大会はいよいよ終盤へ

編集:山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年7月25日(土)

【タイムスケジュール】

8時	朝食
9時半	試合観戦・練習
17時	ホテル着
19時	夕食
20時	ミーティング・テニス談義

【シングルス準決勝結果】

男子

●Gabor Mathe(ハンガリー) 7-6(4).6-4 ○Vincent Novelli(フランス)
○Egor Panyushkin(ロシア) 6-3.6-1 ●Mikael Laurent(フランス)

女子

●Heike Albrecht(ドイツ) 不戦勝 ○Emily Hangstefer(アメリカ)
○Beatriz Villamandos-Lorenzo(スペイン) 7-6(5).6-3 ●Chiu-Mei Ho(台湾)



準決勝の様子

【スタッフの所感】

男子準優勝

フランスのミカエルは、ロシアのパンシュキンに敗退。
梶下選手を倒したロシアの選手は躍動感溢れるプレーでフランスの選手を圧倒していました。
フランスの選手は辛うじて自分のサービスゲームをサービスダッシュで試みてポイントはとるのですが、ゲームはとれませんでした。続けてポイントをとる難しさを改めて感じた試合でした。

女子準決勝

台湾選手は、抜群の安定感はあるのですが、スペイン選手の長身からのサービスがデュースの時のファーストサーブ等が随所に決まっていました。
強風の中、パワーと風との戦いで、どうしてもボールが浅く、先にワイドにふられていきました。
スペイン選手は、最初フットワークが合わなかったのですが、すごく細かなアジャリティ(ステップの一種)を入れて見事に調整し、ミスが少なくなっていました。

練習

男子がインドの選手と練習している時、14歳のロシアのジュニア選手(今大会と並行して実施されているデフジュニア大会の選手)が練習に参加してきました。明日も日本チームと練習させてほしいと言つて帰りました。ジュニアでも自分の練習相手は積極的に申込みをしています。
日本選手、代表選手に限らず、選手生命はそう長くない競技なのでもっと貪欲になってもらいたいと思いました。

【練習】

梶下選手

今日は、主に練習とフォームチェック等をしました。アジア大会に向けて国際大会の舞台でいい感じで練習ができているので、この状態をキープできるように心がけていきたいと思います。

山口選手

今日は、台湾のChia-wen-Lin選手と練習、試合(タイブレーク)をしました。Lin選手は試合が残っているので、限られた時間の中で貴重な練習時間を過ごしました。試合は負けましたが、自分の課題が見つかった良い機会になりました。



インドとロシアの選手と記念撮影



台湾の Chia-Wen-Lin 選手と記念撮影